

## 令和4年度地域課題整理表【就労支援部会】

令和4年4月1日時点

現状	<p>昨年度と同様、<sup>※3</sup>新型コロナウイルスの感染拡大を受け例年実施していた就労を応援するセミナー、企業との情報交換会・企業を対象とした福祉サービス事業所の見学会及び学習会を中止せざるを得なかった。</p> <p>大規模な活動が困難な中でどういったことができるか苦慮したが、アンケートや協議会の実務者会議で、多くの事業所から「他事業所について知りたい」「気軽な環境の中で横のつながりをつくりたい」といった意見がでたことから、事業所間での交流会を実施。また、就労アセスメントマニュアルを改訂。</p> <p>交流会後には<sup>※1</sup>「こういった機会を定期的の実施してほしい」といった好意的な反響がありつつも、「課題に感じていることを解決に結びつける仕組みが必要ではないのか」といった意見がでた。今後も積極的に交流会を時勢に応じた形態で実施しながら、<sup>※2</sup>地域で活動する事業所からの意見を集約し、ただの思いを話す場所ではなく、課題と捉えられる事項を解決に向けて取り組める体制を構築することが必要である。</p>		
現状から見える課題及び優先順位	<p>※1.</p> <p>※2.</p> <p>※3.</p>	<p>事業所間でのつながり強化や思いや悩みを共有できる機会を求める声があるため、定期的な交流会を実施し、定着していきたい。ただの交流会では形骸化することも懸念されるため、課題の解決に向けた取り組みの起点になるようにしていく</p> <p>集約された課題の解決に向けて協議し、取り組める体制を強化していく</p> <p>今後も時勢によって活動に制限がかかることが想定されるが、協議会の活動が停滞しないように出来ることを積極的に実施していく</p>	
令和4年度中に取り組む課題	<p>※1.</p> <p>※2.</p>	<p>就労支援に関する支援課題等が話し合われる交流会の積極的かつ継続的な実施。</p> <p>交流会・意見交換会による意見や課題感の集約の継続</p>	
解決目標及び、目標達成に向けた取り組み	<p>※1.</p> <p>※2.</p>	<p>解決目標</p> <p>解決目標</p>	<p>交流会・意見交換会の継続と拡大(就労アセスメントの評価も含む)</p> <p>昨年度はB型事業所間での交流会で留まってしまったが、A型事業所対象の交流会も実施する。福祉サービス間での交流会を継続しながら、必要に応じて多職種による交流会の企画も検討。時勢によって活動を停滞させるのではなく、時勢に合わせた形で積極的に実施していく。</p> <p>課題を解決に結びつける協議体やプロセスの強化</p> <p>協議会の運営会議や就労支援部会の事務局を活用し、課題の抽出から解決に至る仕組みづくりの協会について協議していく。</p>
R3実績			
残された課題			
新たに確認された課題			

## 令和4年度進捗状況報告【就労支援部会】

令和4年9月30日時点

R4年度中の取組	<p>※1. 事業所間での交流会を積極的に実施していく。福祉サービス間の交流会に留まらず、就労・教育・医療といった多職種に渡る交流会への拡大を視野に入れて取り組んでいく。</p> <p>※2. 交流会・意見交換会による意見や課題感の集約の継続</p>
R4年度中の取組に関する具体的な方針	<p>※1. 昨年度はB型事業所間での交流会で留まってしまったが、A型事業所対象の交流会も実施する。福祉サービス間での交流会を継続しながら、企業・教育・医療といった多職種による交流会を企画していく。時勢によって活動を停滞させるのではなく、時勢に合わせた形で積極的に実施していく。</p> <p>※2. 協議会の運営会議や就労支援部会の事務局を活用し、課題の抽出から解決に至る仕組みづくりの協会について協議していく。</p>
実績	<p><b>【活動実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月23日にA型事業所を対象とした交流会を実施。</li> <li>・6月30日に就労支援部会全体会を実施</li> <li>・9月29日にサービス管理責任者を対象とした交流会を実施</li> <li>・月1回のペースで事務局ミーティングを実施</li> </ul> <p><b>【活動成果】</b></p> <p>昨年度末よりA型・B型事業所の交流会を実施したことにより、職業指導員や生活支援員等、現場で利用者の方々と接する機会が多い支援者の思いを把握することができた。現場からの声をサービス管理責任者と共有して、課題感についての協議や支援者からのニーズに応える活動を企画するなど、生の声を基に活動を展開できたと考えている。</p>
今後の予定	<p><b>【活動スケジュール】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月12日に昨年度に改定したマニュアルに基づいて実施した就労アセスメントについての評価会議を実施する。評価会議後に特別支援学校からの意見も聴衆し、改定後のマニュアルの実効性について検証を行う。</li> <li>・交流会での企画を基に事業所見学会を実施する。</li> </ul> <p><b>【方針】</b></p> <p>年間スケジュールを基に活動する。月1回の事務局ミーティングを継続し、部会活動の企画・検証を実施しながら、実効性のある活動を展開していく。</p>

## 令和4年度地域課題整理表【児童支援部会】

令和4年4月1日時点

現状	<p>一昨年度実施のアンケート結果をもとに、下記2項目に関しての課題を感じる事業所が多かったため、これらの課題についての討議が行われたが、解決目標の設定や解決に向けた取組みの実施はなされていない。</p> <p>1.発達障害や多様な福祉制度を理解するための研修機会が必要とされている。 2.気がかりな子どもや家庭への対応がとぎれやすい。情報が始めから共有できていなかったり、移行がスムーズにいかなかったりすることがある。←小学校へあがる際の移行支援会議に児童発達支援担当者の参加は増えてきている。しかし、就学以降は途切れてしまうことがある。</p> <p>「早期支援」「医療的ケア児」に関する課題感について、周知する場として、部会を活用することはできるものの、未就学児や医療的ケア児を対象としたサービス提供事業所は少なく、部会だけでは課題解決に向けての取組みを実施していける体制が整わない。「医療的ケア児」については医療的ケア児等支援協議会が圏域設置されているが、R3年度の活動実績はない様子。</p>					
現状から見える課題	※1.	出てきた課題に対して解決目標の設定や解決に向けた取組みの実施がなされていない。				
	※2.	支援力向上や支援者の活力向上、課題共有等をしていくための事業所間ネットワークの強化				
R4年度中に取り組む課題	※1.	現状内、2項目の課題				
	※2.	支援力向上や支援者の活力向上、課題共有等をしていくための事業所間ネットワークの強化				
解決目標及び、目標達成に向けた取組み	※1.	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">解決目標</td> <td>継続的に取組める体制の構築</td> </tr> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">取組み</td> <td>次年度以降も上記2項目に関する協議の場が続いていく体制を構築できるよう、ワーキングチームを発足する。解決目標の設定や目標の見直しをする時期についても協議していく。また、ワーキングチームの必要性や地域福祉参画への手ごたえを実感してもらえよう、年度内で研修実施等の実績を残す。</td> </tr> </table>	解決目標	継続的に取組める体制の構築	取組み	次年度以降も上記2項目に関する協議の場が続いていく体制を構築できるよう、ワーキングチームを発足する。解決目標の設定や目標の見直しをする時期についても協議していく。また、ワーキングチームの必要性や地域福祉参画への手ごたえを実感してもらえよう、年度内で研修実施等の実績を残す。
解決目標	継続的に取組める体制の構築					
取組み	次年度以降も上記2項目に関する協議の場が続いていく体制を構築できるよう、ワーキングチームを発足する。解決目標の設定や目標の見直しをする時期についても協議していく。また、ワーキングチームの必要性や地域福祉参画への手ごたえを実感してもらえよう、年度内で研修実施等の実績を残す。					
	※2.	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">解決目標</td> <td>協議会活動の活発化を図る</td> </tr> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">取組み</td> <td>小部会制を廃止した一方、R3年度に連絡会のような形で放デイのつどいを創設。各地域支援者が主体性をもって、地域で暮らす当事者にとって有益な議論が活発に行われるようにしていく。</td> </tr> </table>	解決目標	協議会活動の活発化を図る	取組み	小部会制を廃止した一方、R3年度に連絡会のような形で放デイのつどいを創設。各地域支援者が主体性をもって、地域で暮らす当事者にとって有益な議論が活発に行われるようにしていく。
解決目標	協議会活動の活発化を図る					
取組み	小部会制を廃止した一方、R3年度に連絡会のような形で放デイのつどいを創設。各地域支援者が主体性をもって、地域で暮らす当事者にとって有益な議論が活発に行われるようにしていく。					
R4年度実績						
残された課題						
新たに確認された課題						

## 令和4年度進捗状況報告【児童支援部会】

令和4年9月30日時点

R4年度中の取組	<p>※1. 研修企画及び移行支援に関する課題解決に向けた取組みの実施</p> <p>※2. 支援力向上や支援者の活力向上、課題共有等をしていくための事業所間ネットワークの強化</p>
R4年度中の取組に関する具体的な方針	<p>※1. 継続的に取組める体制を構築するため、前年度に協議した課題について、研修企画及び移行支援に関するワーキングチームを発足し、研修機会の創設及び移行支援体制の構築を目指した協議を実施していく</p> <p>※2. 各地域支援者が主体性をもって、地域で暮らす当事者となる方にとって、有益な議論が活発に行われるよう、放デイのつどいを継続的に実施していく</p>
実績	<p><b>【活動実績】</b></p> <p>○全体会議…7/13(水) 1回開催          ○事務局会議…6/21(火)、9/15(木) 2回開催          ○放デイのつどい…7/6(水) 1回開催</p> <p><b>【活動成果】</b></p> <p>※1. 各ワーキングの取組み内容に合わせ、ワーキングメンバーの編成も固まりつつあり、検討の実施がなされている          ※2. 放デイのつどい内で、悩みや支援内容等についての共有及び地域内での遊び場の共有の実施(マップ作成について検討中)</p>
今後の予定	<p><b>【活動スケジュール】</b></p> <p>○全体会議…令和4年2月頃開催予定          ○各ワーキング…適宜開催予定          ○放デイのつどい…令和4年10月頃開催予定          ○研修会…開催時期未定ではあるが、今年度内に実施予定</p> <p><b>【方針】</b></p> <p>○継続的に取組める体制の構築          ○協議会活動の活発化を図る</p>

## 令和4年度地域課題整理表 【精神障害者支援部会】

令和4年4月1日時点

現状	<p>○現状</p> <p>【精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井県立大学の岡田准教授を部会アドバイザーとし、システムの構築に向けて方向性の検討や、精神障害者支援部会の進め方を協議した。年度初めに1回、事務局MTの場で協議。</li> </ul> <p>【包括ケア推進会議及び委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県、市、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、病院、訪問看護ステーション、専門職養成機関を招集。</li> <li>・にも包括構築に向けた協議を行う場として包括ケア推進会議を設置。3か月に1度（年4回）実施。</li> </ul> <p>【精神保健福祉の連携会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・坂井地区の様々なデータを示し、医療、福祉の参加者が地区について考える機会になった。</li> <li>・立場の違い、見ている景色の違いに着目し話し合ったことで、お互いに連携していきたいと感じていることを共通認識した。同時に、地区として当事者や家族の思いを聞く機会の必要性について意見が挙げられている。</li> </ul> <p>【部会運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各会議をオンラインで行うことで、コロナウィルス感染拡大状況に影響されず、開催することができた。</li> </ul>
現状を踏まえて、R4年度に必要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>※1. 継続して精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けて検討していく</li> <li>※2. 当事者、家族の参画に向けて協議</li> <li>※3. 精神保健福祉の連携会議を開催する</li> <li>※4. 坂井地区としてのデータから指標となる数値目標について検討する</li> </ul>
課題解決に向けた具体的な取り組み、方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>※1 令和3年度の実績を踏まえて、「にも包括」構築に向けて、引き続き県立大学の岡田准教授に部会アドバイザーを依頼し、助言をいただきながら協議していく。（事務局MT）</li> <li>※2 当事者がある人らしく生活できるような支援体制づくり、また、当事者や家族の意見を取り入れやすい仕組みづくりなどを協議する。（包括ケア推進会議、年4回予定）</li> <li>※3 多職種による連携はニーズも高く、参加者それぞれが成果を感じることができているため、今年度も開催する。当事者の参画についての提案もあったため、それを踏まえて開催方法などを協議する。（精神保健福祉連携会議 年1回予定/包括ケア推進会議 年4回予定）</li> <li>※4 課題等の検証の指標になるようなデータを模索し、設定して数値目標とする。既存のデータになれば、今後蓄積していけるようにする。（事務局MT 年6回予定/包括ケア推進会議 年4回予定）</li> </ul>
実績 (R4年度)	
確認された課題	

## 令和4年度進捗状況報告【 精障害者支援部会】

令和4年9月30日時点

R4年度中の取組	<p>※1. 継続して精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けて検討していく</p> <p>※2. 当事者、家族の参画に向けて協議</p> <p>※3. 精神保健福祉の連携会議を開催する</p> <p>※4. 坂井地区としてのデータから指標となる数値目標について検討する</p>
R4年度中の取組に関する具体的な方針	<p>※1. にも包括構築に向けて引き続き県立大学岡田准教授に部会アドバイザーを依頼し助言をいただきながら協議していく(事務局MT)</p> <p>※2. 当事者がある人らしく生活できるような支援体制づくり、また、当事者や家族の意見を取り入れやすい仕組みづくりなどを協議する(包括ケア推進会議)</p> <p>※3. 多職種による連携ニーズも高く、参加者それぞれが成果を感じる事ができているため、今年度も開催する。当事者の参画についての提案もあったため、それを踏まえて開催方法などを協議する(精神保健福祉連携会議、包括ケア推進会議)</p> <p>※4. 課題等の指標になるようなデータを模索し、設定して数値目標とする。既存のデータになれば、今後蓄積していけるようにする(事務局MT、包括ケア推進会議)</p>
実績	<p><b>【活動実績】</b> 事務局会議 3回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記2についての取り組み協議。当事者の参画に向けて、まずは実態やニーズ調査を行うことで当事者のニーズを反映させていく。</li> <li>・具体的には、精神病院に入院する長期入院者と地域で生活する精神障がい者のニーズ調査を実施する方向ですすめていくことを確認。</li> <li>・単年度で実施することが困難と判断。そのため複数年で実施していく方向となる。</li> </ul> <p>包括ケア推進会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神病院に入院する長期入院者のニーズ調査についての意見聴取</li> </ul> <p><b>【活動成果】</b> 協議進行中</p>
今後の予定	<p><b>【活動スケジュール】</b></p> <p>10月 包括ケア推進会議 : 長期入院者への調査内容や運用の協議</p> <p>12月 包括ケア推進会議 : 長期入院者への調査実施の細部すり合わせ。完成</p> <p>2月 包括ケア推進会議 : 上記調査結果共有</p> <p>* 連携会議未定</p> <p><b>【方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議をすすめる</li> <li>・当年度は、長期入院者のニーズ調査の実施を目標としてすすめているのだが、現状、協議中の段階。論点は、目的や方法等。参加者の合意形成を図ったうえで協議をすすめていくこととする。</li> <li>○連携会議について。現状、未定。内容等について協議していく。</li> </ul>

## 令和4年度地域課題整理表【権利擁護部会】

令和4年4月1日時点

現状	<p>・R3年度はサービス提供事業所、社協、当事者家族、行政に加え各専門部会代表者を委員に招集して実行委員会を3回開催した。実行委員会では障害者虐待、差別解消、日常生活自立支援事業や成年後見制度の活用に関する事、意思決定支援等に関する地域の現状を共有・協議した。特に身体拘束等の適正化と意思決定支援に関して、学びを深める機会を望む意見が挙げられている。</p> <p>・地域の障害者虐待防止の取り組みとしてサービス提供事業所向けの研修を開催した。研修参加者からは、R4年度以降の継続開催を希望する声が挙げられている。</p>	
現状から見える課題及び優先順位	<p>① 権利擁護に関する話題が多岐にわたるため、他の専門部会等と連携して取り組む必要がある。</p> <p>② 障害者虐待防止の取り組みが地区内の支援者にまだまだ浸透していない。</p> <p>③ 差別解消に対する地域の理解や意識を高めていく必要がある。</p>	
R3年度中に取り組む課題	<p>※1. 権利擁護に関する話題が多岐にわたるため、他の専門部会等と連携して取り組む必要がある。</p> <p>※2. 障害者虐待防止の取り組みが地区内の支援者にまだまだ浸透していない。適切な支援をするために、支援者が支援の悩みを共有・相談できる機会が必要である。</p>	
解決目標及び、目標達成に向けた取り組み	※1.	<p><b>解決目標</b> 権利擁護に関する地域の実情を把握し、必要な取組を実施する。</p> <p><b>取り組み</b> 各専門部会の代表者を委員に招集する。実行委員会で挙げた話題を各専門部会へ持ち帰り、また各専門部会で挙げた権利擁護に関する話題を持ち込む等、連携を図り地域の実情を把握し、課題解決に向けた取組を検討・実施する。</p>
	※2.	<p><b>解決目標</b> 地区内の支援者が障害者虐待防止の取り組みを学び、支援について他の支援者と語り合う機会を持つことができる。</p> <p><b>取り組み</b> 研修会等を企画し、障害者虐待の防止に関する意識の向上と日々の支援を振り返る機会を作る。</p>
実績		
残された課題		
新たに確認された課題		

## 令和4年度進捗状況報告【権利擁護部会】

【R4.9.30時点】

R4年度中の取組	<p>※1. 権利擁護に関する地域の実情を把握し、必要な取り組みを実施する。</p> <p>※2. 地区内の支援者が障害者虐待防止の取り組みを学び、支援について他事業所の支援者と語り合う機会を作る。</p>
R4年度中の取組に関する具体的な方針	<p>※1. 各専門部会の代表者を委員に招集する。実行委員会で挙げた話題を各専門部会に持ち帰り、また各専門部会で挙げた権利擁護に関する話題を委員会に持ち込む等、連携を図り地域の実情を把握し、課題解決に向けた取組を検討・実施する。</p> <p>※2. 研修会等を企画し、障害者虐待の防止に関する意識の向上や日々の支援を振り返る機会を作り、支援の質の向上を図る。</p>
実績	<p><b>【活動実績】</b></p> <p>実行委員会を2回開催</p> <p><u>第1回 7月13日</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題整理票の確認</li> <li>・地域の実情共有</li> <li>・今年度の取組について</li> </ul> <p><u>第2回 9月16日</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の実情共有</li> <li>・研修の企画立案</li> </ul> <p><b>【活動成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度、選挙の投票に関する合理的配慮の話題が挙がり、その後行政で『投票所での配慮について』のチラシ作成や今年度の参議院議員選挙に合わせた当事者・家族向けの研修や期日前投票の実施などあらたな取組につながっている。</li> <li>・昨年度実施した虐待防止研修を振り返り、協議会で研修を実施する意味を再確認している。施設従事者の虐待防止に関する取組だけでなく、養護者虐待防止にも目を向けた取組が求められている。</li> <li>・事業所等で福祉サービスの提供における差別の禁止(特に不均等待遇)の再確認が必要である。</li> </ul>
今後の予定	<p><b>【活動スケジュール】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会の開催 12月頃(研修前)と3月頃を予定</li> <li>・研修会の開催 研修テーマは意思決定支援 1～2月頃を予定</li> </ul> <p><b>【方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会ではこれまで通り各委員より各部会や地域の権利擁護に関する話題をあげてもらい共有・検討する。研修会開催に向けての協議も行う。</li> <li>・意思決定支援をテーマにした研修会を開催する。</li> </ul>



## 令和4年度地域課題整理表【相談支援事業所連絡会】

令和4年4月1日時点

現状	<p>○相談支援事業所連絡会の現状 事例検討会と情報共有会を引き続き実施。情報共有会では各相談員の意見交換が活発になりつつある。 また、研修会においては基幹・委託だけでなく、特定相談支援事業所の相談支援専門員も企画・運営に加わり、“相互によるフォローアップ・育成”が定着しつつある。</p> <p>○坂井地区の相談支援体制の現状 R2年度と比較し、常勤専従の相談支援専門員の数は増加したものの、業務過多により担当事業所が見つからずセルフプランを運用するケースが出てきている。また、委託相談支援事業所においても業務過多の傾向が見られる。</p>	
現状から必要な取組	※1.	相談支援専門員の継続的なフォローアップやスキルアップ
	※2.	<p>現行の相談支援体制の評価及び必要に応じた見直し →相談支援事業所連絡会での活動とは別の機会での取組が必要ではあるが、協力、提案していく形で関与する。</p>
R4年度中の取組	※1.	相談支援専門員の継続的なフォローアップやスキルアップ
	※2.	地域課題になり得る話題があがった際に、その検証や今後の活動につなぐ。
R4年度中の取組に関する具体的な方針	※1. 取り組み	<p>相談支援専門員の相互によるフォローアップやスキルアップが図られるよう、事例検討会等を行う。 各層相談員どの役割であっても、相談支援の目的と基本的視点をもって相談支援業務を実施できるよう、学びを深める。</p>
	※2. 取り組み	<p>定期的に地域課題を意識した話し合いの場を確保するとともに、出てきた話題を共有しながら、課題解決に向けた活動の提案等をしていく。</p>
実績		
新たに確認された課題		

## 令和4年度進捗状況報告【相談支援事業所連絡会】

【R4.9.30時点】

R4年度中の取組	<p>※1. 相談支援専門員の継続的なフォローアップやスキルアップ</p> <p>※2. 地域課題になり得る話題があがった際に、その検証や今後の活動につなぐ。</p>
R4年度中の取組に関する具体的な方針	<p>※1. 相談支援専門員の相互によるフォローアップやスキルアップが図られるよう、事例検討会等を行う。 各層相談員どの役割であっても、相談支援の目的と基本的視点をもって相談支援業務を実施できるよう、学びを深める。</p> <p>※2. 定期的に地域課題を意識した話し合いの場を確保するとともに、出てきた話題を共有しながら、課題解決に向けた活動の提案等をしていく。</p>
実績	<p><b>【活動実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月を除き毎月実施・・・計5回</li> <li>⇒情報共有会(相談員間の情報交換、意見交換)・・・3回</li> <li>⇒事例検討会(フォローアップ及びスキルアップを目的としたケース検討)・・・2回</li> </ul> <p>・企画MT(基幹C、委託相談、計画相談の相談員にて構成)を7月・9月に実施</p> <p><b>【活動成果】</b></p> <p>○情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質の高い相談支援の提供を目的とした業務効率化に関する情報交換(取り組み例)</li> <li>・地域生活支援拠点等事業における緊急時対応ケースの共有 ⇒各相談支援事業所に対する今後の参考事例として</li> <li>・フォローアップを目的としたケース対応における悩みの共有</li> </ul> <p>○事例検討会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労を希望するも外での活動が難しい方への動機づけについて</li> <li>・本人の趣味を活用した生活の充実化、家族へのアプローチ方法について</li> </ul>
今後の予定	<p><b>【活動スケジュール】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初のスケジュールどおり ⇒毎月第3水曜日午後より実施(他部会等のスケジュール、実施内容等により変更の可能性あり)</li> <li>・事例検討会をグループスーパービジョンに切り替え ⇒具体的なケース検討や地域課題としての取り上げ等が必要と判断された提供事例には改めてケース検討等を実施</li> <li>・必要に応じて研修会を実施</li> </ul> <p><b>【方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別ケースの課題や地域資源等を共有しながら、地域課題等の抽出を実施</li> <li>・地域へ提供される相談支援の提供維持及び質の向上を目的に、フォローアップ・スキルアップを図る</li> </ul>